

ミ/ラ/ト/ラ/ 体験レポート

～パーパス・カービングの実践から、
変革への道筋が見えてくる～

富士通では、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進のためのツールとして、グループ全体で「パーパス・カービング」を実践しています。カービングは「彫刻」を意味しており、パーパス・カービングとは、まさに自身の心の中から自己のパーパス、すなわち働く意義や生きる目的などを彫り出していく対話型のプログラムです。

従業員1人ひとりが導き出した個人のパーパスを、会社のパーパスと掛け合わせることで、多様な合力（同時に働く2つ以上の力を合成した力）が生み出され、変革への原動力となります（図1）。富士通では、このパーパス・カービングを、時田社長はじめ経営陣も含めた全社員が体験しています。

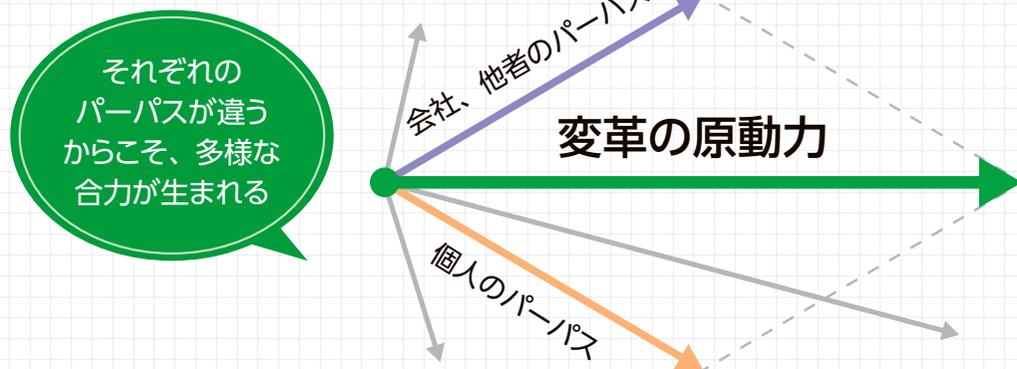


図1)パーパス・カービングのコンセプト

ファミリー会では、コロナ禍でオンラインでの活動が中心となる中、これまでとは違う形で、会員様同士が交流する場を設けたいと考えてきました。特に経営層が、自らの悩みを共有、相談できる場を実現できないかということで、総会の開催とあわせて、ファミリー会員の皆様に「パーパス・カービング」をベースに構成した、「ミラトラ」[自分 (me) と未来をトランスフォームすることを、みんなで一緒にトライする!との意味を込めた造語] と名付けたプログラムをご体験いただきました。

このミラトラは、各企業におけるDXの推進者が、自身の内面から自社の課題解決方法を学ぶ、デジタルビジネス推進リーダーのための対話型プログラムです。参加者同士のパーパスを起点とした対話を通じ「自社のビジネスにパーパスをどう活かせるか」ビジネス起点でのアイデアを共有いただくもので、今年度会員の皆様にも展開予定です。

今回のご体験では、用意されたテーマをもとに、対話を楽しみながら、共通する課題やその解決策を見つけ出すことで、参加者同士のつながりを生むことを目的に交流いただきました。当日は、久々の対面形式による交流の場となったこともあり、和気藹々とした雰囲気のもと、活発な対話が交わされました。オンライン開催を含む、全3回のプログラムの模様を紹介します。

ミラトラプログラムは、
3回に分けて実施しました

第1回 2022/5/13

第2回 2022/5/24
online

第3回 2022/6/8
online

第1回 講演 Purpose Carving (パーパスを掘り起こし言語化する)

- 日時/2022年5月13日(金) 14:20～17:00
- 会場/帝国ホテル東京(総会とあわせて開催)



プログラム第1回では、ナレッジネットワーク株式会社の森戸裕一氏を講師にお迎えし、「Well-Beingを実現するDX組織構築の考え方」と題した講演をお聞きいただきました。

講演では、急速なデジタルシフトによって社会に大きな構造変化が生じていることが実例とともに語られ、もはや「IT化による業務効率の向上」というフェーズを終え、「DXによるWell-Beingの実現」とい

う新たなフェーズを迎えているとの認識が示されました。

また、「裕福」を目指していた社会から「幸福」を目指す社会への転換が進む中で、人々の幸福を最大化するためには、1人ひとりが「自分は何のために生きるのか/働くのか」という目的意識を明確にする「パーパス」が重要だと語られました。

さらに、デジタルによる業務変革(DX)を、未来志向経営による会社組織全体の



変革(コーポレート・トランスフォーメーション: CX)につなげていく必要性など、今後の企業戦略への示唆やヒントに満ちた講演に、役員の皆様は熱心に耳を傾けていました。

続いて行われた「パーパス・カービング」では、過去～今、大切にしているもの(価値観)、価値観につながる体験など、自身が「夢中になったこと」「やり遂げたこと、乗

り越えたこと」など、根本的に自分がどうなのか、原点に戻って見つめ直し、自分自身の内側に持つパーパスを明確にしていくワークを、グループに分かれてご体験いただきました。

ワークの最後には、参加者同士による「言葉のギフト」の交換が行われ、温かい雰囲気の中で「お互いを深く知る」という交流が生まれました。

パーパス・カービング

グループに分かれ、テーブルごとに
行われた相互インタビュー



講演 / Well-Beingを実現する DX組織構築の考え方

ナレッジネットワーク株式会社
森戸 裕一 氏

デジタル化による組織や地域の変革支援が得意分野。内閣官房より、全国でわずか5名の「シェアリングエコノミー伝道師」に任命され、自治体と連携した地方創生支援やデジタルトランスフォーメーションの推進を軸にした全国の企業人材育成・経営指導実績をさらに重ね、専門分野の幅を広げている。



第2回

Purpose Dialogue

(パーパスを共感する)

- 日時：2022年5月24日(火)
14:00～16:00
- 会場：オンライン開催
- 講師：株式会社富士通ラーニングメディア

第3回

アイデアづくり

- 日時：2022年6月8日(水)
14:00～16:00
- 会場：オンライン開催
- 講師：株式会社富士通ラーニングメディア

会場をオンラインに移して開催された第2回では、第1回で明確にしたご自身のパーパスを、前回とは異なるグループで共有し、互いに共感いただく「Purpose Dialogue」を行いました。

グループワークでは、事前におまもいただいた内容をもとに、参加者1人ひとりが「何を大切にしているのか」「なぜ、それを大切にしているのか」を、ご自身の仕事や生活と結びつけながらお披露目い

ただきました。話し手にとっては、人前で自身のパーパスを発信することがマインドセットの機会となり、聞き手にとっては、他の方のパーパスを知ることが大きな刺激になったようです。

グループワーク後の振り返りでは、「社内や仕事相手との普段の対話では出てこない話題が多く、非常に刺激になった」といった声が聞かれるなど、貴重な体験になったとご評価いただきました。



プログラムの最終段階では、「自社のビジネスにパーパスをどう活かせるか」を念頭に置き、社会課題をテーマに解決に向けたアイデアを共有しました。また、企業としての競争力を維持・強化しながら、社会・環境への貢献を実現する経営の在り方について意見交換を行いました。

オンラインによるワークショップでは、まず、参加者それぞれが意識する社会課題について発表し、その中からグループで深堀りしたいテーマを決めて、ディスカッションを行いました。こうした対話を通じて、社会課題をテーマに組織の変革

や新たな価値創出を導くアイデアやヒントを得ていただくとともに、同じ課題意識を持った方同士が、今後のファミリー会を通じて課題解決策を見つけ出すつながりが生まれることも期待しています。

ワークショップ後は、各グループの対話による成果を、参加者全員に向けて発表していただきました。環境危機やフードロス、人口減少社会への対応など、多様な社会課題をテーマに、解決に向けた考え方やアプローチが披露され、それらに対する意見交換も行われるなど、意義深い交流の場となりました。

「パーパス」と「大切にしているもの」

<p>ITに携わる人たちのステータスを向上させる。 公正・信頼・健康</p>  <p>佐藤会長</p>	<p>多様な価値観を持つ仲間を引き合わせ、お互いの引き出しを増やすことで、一人ひとりがウェルビーイングである世界を創りたい。 多様性・人間性・楽しさ</p>  <p>大川理事</p>	<p>自分の経験、体験を後輩につなぎ、さらなる改革につなげる。 愛情・健康・フォローシップ</p>  <p>中野理事</p>
<p>いつもユーモアのセンスを忘れずに、様々な特性をお互いにリスペクトして、それらの融合を先導し、気持ちいいものを創造する。 リーダーシップ・多様性・ユーモア</p>  <p>関西支部 有司支部長</p>	<p>人々の心を豊かで活力のあるものにするために自らを高めながら、価値ある情報を提言する。 楽しさ・成長・好奇心</p>  <p>東海支部 風間支部長</p>	<p>IT技術で地域社会を盛り上げる。 人との繋がり・前向きな考え・直感</p>  <p>四国支部 石元支部長</p>

参加理事より



日本通運株式会社
IT推進部
大林 孝至 氏

自身のパーパスという、大切だけれども、今まであまり深く考えてこなかったことを考える貴重な機会をいただき、新たな気づきを得ることができました。いくつかのキーワードの中から自分の大切にしている価値観を選び、過去の体験を振り返りつづ言語化することで、自分自身の考え方を整理できたと感じています。

普段はどうしても業務中心の対話になりがちなので、業務以外のテーマについて深く考え、言語化し、それらをもとに他企業の方々と話し合うことは新鮮な経験でした。また機会があれば、メンバーを変えて体験してみたいですね。